

第23回 京都の秋 音楽祭

Piano Quintette Concert dédié à

Gabriel Fauré



オ

ピアノ
北村 朋幹
Tomoki
KITAMURA



©TAKUMI JUN

Sunday, 10
November 2019,
13:30 Open, 14:00 Start
at Kyoto Concert Hall
Ensemble Hall Murata

若きトップ・プレイヤーたちの挑戦!

室内楽の最高峰 フォーレのピアノ五重奏 全曲演奏会

ヴァイオリン
山根 一仁

Kazuhito YAMANE

ヴィオラ
田原 綾子

Ayako TAHARA

ヴァイオリン
毛利 文香

Fumika MOHRI

チェロ
上野 通明

Michiaki UENO

〈 エール弦楽四重奏団 〉
Aile String Quartet



©Hideki Shiozawa

北村朋幹×エール弦楽四重奏団

2019 **11.10** ⑩ 京都コンサートホール
14:00開演 | 13:30開場 アンサンブルホールムラタ

プログラム

フォーレ：ピアノ五重奏曲 第1番 ニ短調 op.89

Gabriel Fauré :
Quintette pour piano et cordes No. 1 en Ré mineur op.89

シェーンベルク(ウェーベルン編)：室内交響曲 第1番 op.9

Arnold Schönberg (arranged by Anton Webern):
Kammersymphonie No. 1 op.9

フォーレ：ピアノ五重奏曲 第2番 ハ短調 op.115

Gabriel Fauré :
Quintette pour piano et cordes No. 2 en Ut mineur op.115

[全席指定] 一般 3,000円 / U-30券* 1,500円(限定50枚/当日座席指定※要証明) / 会員** 2,700円

*[かなりお得!U-30券] 30歳以下のお客様のみ、50枚限定。引換券にて、当日座席指定。要証明書。

当日、証明書をお忘れの場合、追加料金が発生します。予めご了承ください。

**会員：京都コンサートホール・ルームシアター京都Club(年会費：1,000円)と京響友の会会員が対象。

ご予約・お問い合わせ

京都コンサートホール ☎075-711-3231
10:00~17:00/第1・3月曜休館(休日の場合は翌平日)

ルームシアター京都 ☎075-746-3201
10:00~19:00/年中無休(臨時休館日を除く)

ローンチケット ☎0570-000-407 [Lコード:57450]

24時間いつでも! オンラインチケット購入

詳しくはWEBで!

<https://www.kyotoconcerthall.org>

[会員先行発売]6月16日⑩ [一般発売]6月23日⑩

※シニア(70歳以上)/障がいのある方割引(ご本人と同伴者1名まで対象):一般2,700円
(京都コンサートホール・ルームシアター京都のみ取扱い。窓口にてご本人様が証明書をご提示ください。※オンライン購入不可)
※都合により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。
その際、チケットの払い戻し、キャンセル等はいたしかねますので、予めご了承ください。

託児室のご案内:未就学のお子様は会場にお入りいただけません。
託児室(要予約/1歳以上/定員有/有料1,000円)をご利用いただけます。
11月3日(日)までに京都コンサートホール事務所(075-711-2980)へご予約ください。

主催:京都市/京都コンサートホール
(公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団)
後援:村田機械株式会社

京都コンサートホール
KYOTO CONCERT HALL

23rd
AUTUMN
KYOTO
MUSIC FESTIVAL

に

捧

ぐ



©TAKUMI JUN

©Hideki Shiozawa

フォーレに捧ぐ

— 北村朋幹 × エール弦楽四重奏団

Gabriel
Fauré

Piano Quintette Concert dédié à Gabriel Fauré Tomoki KITAMURA × Aile String Quartet

ピアノ五重奏でなければ出来ないこと

渡辺 和 (音楽ジャーナリスト)

ピアノ五重奏とは、ヴァイオリンふたつとヴィオラ、チェロ(要は弦楽四重奏だ)にピアノが加わる編成である。意外かもしれないが、ピアノ五重奏曲だけでまるまる埋められるコンサートなど、ありそうでめったにない。それも選りに選って「フォーレのピアノ五重奏曲全曲演奏会」なのだ。

優しさに満ちた《レクイエム》や叙情的歌曲、ピアノ曲で知られるフォーレだが、その最も重要な作品群は室内楽である。とりわけ、脂の乗り切った還暦の歳に完成された第1番と最晩年の第2番のピアノ五重奏は、特別な存在だ。ブルックナーの交響曲を聴くような二短調、ピアノの派手さが弦楽アンサンブルの中に溶けてしまったような透明な抒情のハ短調、共に誰が聴いても名曲だが、譜面のままに再現しただけでは、ただひたすらに美しい響きの羅列が続くばかりにもなりかねない難物である。全曲演奏大流行の昨今にあつて、両曲を一晩で弾こうなど誰もやらないのも納得してしまう。

もうひとつ。ピアノ五重奏は、ポピュラーな割には些か難物なフォーマットなのだ。なにしろ、西洋クラシック音楽の長い歴史の中で、常設のピアノ五重奏団というもの存在したことがない。著名な弦楽四重奏団はいくらでもあるし、スターが集まるピアノ三重奏団も数多い。ピアノ四重奏団だって、数は少ないながら名が知られた団体がある。敢えて言えば、ピアノ五重奏という形態は「常設のアンサンブルであることを絶対条件としないちょっと特別な室内楽」なのだ。

そう考えると、この演奏会に抜擢されたのがエール弦楽四重奏団であるという事実が、味わい深く思えてくる。現在の日本で最も若いこの期待の弦楽四重奏団は、とても今時の音楽家なのだ。日本でクラシック音楽が演奏されるようになってこのかた、多くの偉大な先達達が厳しい音楽環境の中でなんとか弦楽四重奏団を維持しようと艱難(かんなん)の道を歩んできた。いつも同じ演奏家が家族以上に親密な時間を過ごしてのみ、真の室内楽の道は極められる、と信じてきたのだ。だが、エール弦楽四重奏団の若者達はあっさり言い切る。曰く、「(弦楽四重奏団を)意識して組んでいるわけでないから、解散もない」。常に同じ顔ぶれながら、別々に研鑽を積み育てている真っ最中の才能が、定期的に出会う新鮮さこそ室内楽の本質——若者達は、そう信じているのだ。

日本で出合い、弦楽四重奏を始め、今はフランクフルト、ミュンヘン、デュッセルドルフ、パリで学び、音楽を続ける四人が、折に触れて再会し、その間の変化を弦楽四重奏という形にぶつけ合う。そして今回は、そこにピアニストの強烈な吸引力が動く。静謐さと素直な抒情のフォーレの間に、己の豊かすぎる感情を知性の拘束具で押さえ込んだシェーンベルクの葛藤が挟まれる一筋縄ではいかない魅力的なプログラム。ピアノ五重奏という姿でなければ不可能な奇跡が起きるかも。

Profile

深いリリシズムと完璧なまでのテクニック

北村朋幹 [ピアノ]

愛知県出身。これまでに浜松国際ピアノコンクール第3位、シドニー国際ピアノコンクール第5位ならびに3つの特別賞、リーズ国際ピアノコンクール第5位、ボン・テレコム・ベーターヴェン国際ピアノコンクール第2位など受賞。第3回東京音楽コンクールにおいて第1位ならびに審査員大賞(全部門共通)受賞、以来日本国内をはじめヨーロッパ各地で、オーケストラとの共演、ソロリサイタル、室内楽、古楽器による演奏活動を定期的に行っている。東京藝術大学に入学後、2011年よりベルリン芸術大学ピアノ科で学び最優秀の成績で卒業。伊藤恵、エヴァ・ポプウォッカ、ライナー・ベッカー各氏に師事。現在はフランクフルト音楽・舞台芸術大学に於いて、イエスパー・クリステンセン氏のもと歴史的奏法の研究に取り組んでいる。

国内外のコンクール覇者・入賞者がメンバー。

いま若手で最も熱い弦楽四重奏団！

エール弦楽四重奏団

[ヴァイオリン/山根一仁・毛利文香、ヴィオラ/田原綾子、チェロ/上野通明]

2011年に桐朋学園の仲間により結成。「エール」は仏語で翼を表し、「大きく羽ばたいていけるように」という願いから名づけられた。JTが育てるアンサンブルシリーズ、ヴィオラスペース、大阪フェニックスホール主催今井信子プロデュースコンサート、NHK-BSクラシック倶楽部、ル・ボン国際音楽祭、武生国際音楽祭、東京文化会館主催モーニングコンサート、めぐろパーシモンホール「未来の音 ガラコンサート」などに出演。パブロ・カザルス音楽祭、韓国教育音楽祭GMMFS、プロジェクトQで研鑽を積む。深澤亮子、伊藤恵、大山平一郎の各氏と共演。原田幸一郎、毛利伯郎の両氏に師事。

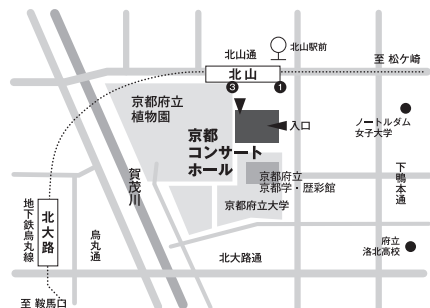


京都コンサートホール

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26
〈地下鉄丸線「北山」駅①③番出口南へ5分〉



公式ホームページ

<https://www.kyotoconcerthall.org>

[Facebook] 京都コンサートホール Kyoto Concert Hall

[Twitter] 京都コンサートホール @KCH_Kyoto

[公式ブログ] <https://www.kyotoconcerthall.org/blog>